Minecraft、MC ブロックビルダー
インストールガイド

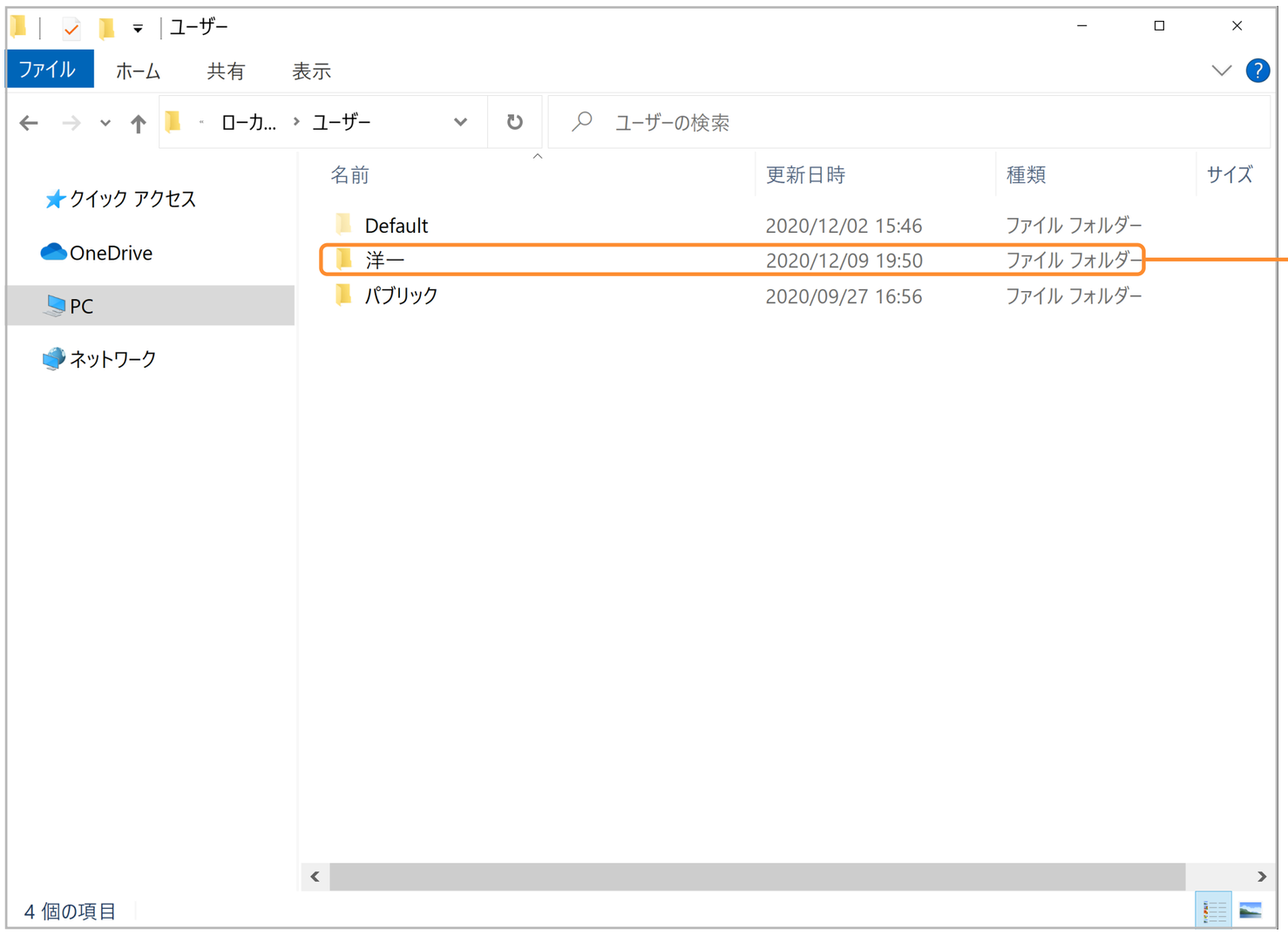
　MC ブロックビルダーをインストールする前に、Minecraft Java Edition のインストールや環境設定が必要です。既に Minecraft がインストールされている場合でも、1 から順番に確認してから必要なセットアップを行ってください。

1　ユーザーフォルダ名の確認
2　Java の確認とインストール
3　Minecraft Java Edition の確認とインストール
4　forge のダウンロードとインストール
5　MC ブロックビルダーのインストール
6　動作確認
7　トラブルシューティング
8　FAQ
9　技術情報

1　ユーザーフォルダ名の確認

❶ ユーザーフォルダ名の確認

インストール作業を始める前に、まずこれからアプリをインストールするユーザーのユーザーフォルダ名を確認します。エクスプローラーの下記画面を開いてください。



アプリをインストールするユーザーのユーザーフォルダ名が、このように日本語（2 バイト文字）になっていると、MC ブロックビルダーのインストールができません。

「パブリック」のフォルダはデフォルトで存在するので、日本語でも問題ありません。

◀ C:\Users の画面。エクスプローラーでは PC ＞ローカルディスク (C:) ＞ユーザー とたどると表示されます。

❷ 新規ユーザーの追加

ユーザーフォルダ名が日本語の場合、新しいユーザーを追加してください。ユーザーフォルダ名が半角英数字であれば、問題は発生しませんのでこの作業は必要ありません。

このメニューから「家族」もしくは「その他のユーザー」のメンバーを追加して、新たなユーザーを設定してください。

2020 年 12 月以降、Minecraft Java Edition を購入する際に Microsoft アカウントが必要になりました。新たにユーザーを設定する際は、「家族のメンバーを追加」を選び、Microsoft アカウントを作成しておくと、後で Minecraft Java Edition を購入する際にスムーズです。

◀設定の「アカウント」画面。

新規ユーザーを追加したら、改めて今追加したユーザーのユーザーフォルダ名を確認してください。半角英数字のフォルダになっていたら成功です。

これ以降の設定はすべて新しく追加したユーザーアカウントにログインした状態で行ってください。

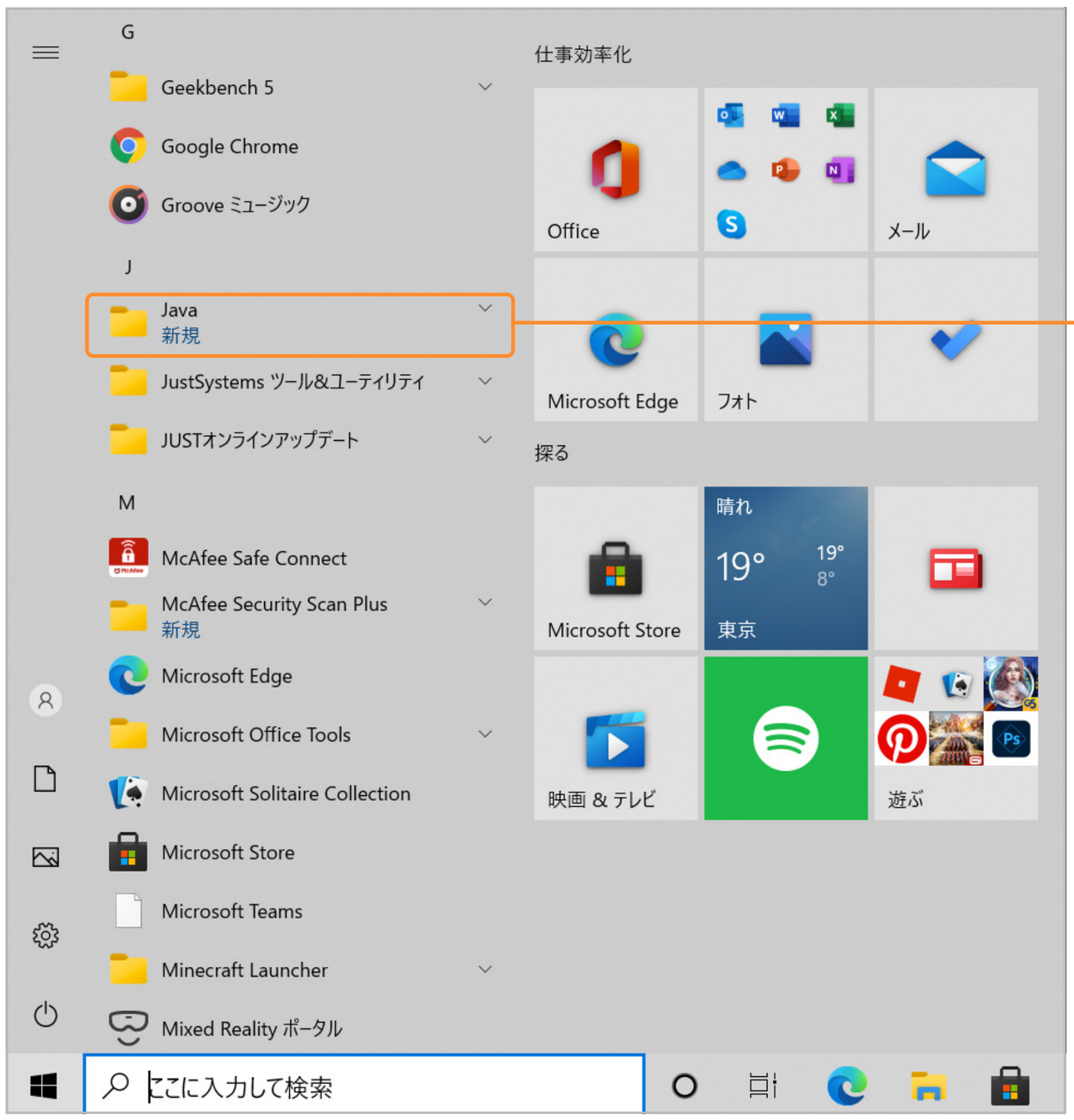
ご家庭のパソコンをお子さんが使う場合などは、敢えて子ども専用のアカウントを新設してそちらを Minecraft 環境として設定すると良いかもしれません。Minecraft は一度インストールするとどのアカウントからでも利用できますが、forge と MC ブロックビルダーは、アカウント毎にインストールが必要になります。

ユーザーフォルダ名が半角英数字であれば、上記作業は必要ありません。以後、Minecraft や MC ブロックビルダーはすべてそのユーザーアカウント上で設定します。2 に進んでください。

2　Java の確認とインストール

❶ Java の確認

お使いの PC に、Java がインストールされているかを確認します。



Windows のスタートメニューをクリックして、アプリケーション一覧の J の項目に Java のフォルダがあれば、すでに Java がインストールされています。

インストール済みの場合は、フォルダを開き、「Java について」をクリックしてください。下のウィンドウが開きます。

バージョン 8 以上であれば問題ありません。
Java は頻繁にアップデートされていますので、この機会に最新版にしておくことをお勧めします。その際は同じメニューの「更新の確認」を実行します。

❷ Java のインストール

Java がインストールされていない場合は、新たに下記ホームページからファイルをダウンロードしてインストールします。

https://www.java.com/ja/

ここをクリックすると下のようなファイルがダウンロードされます。このファイルを実行してください。

JavaSetup8u271.exe

新規に Java をインストールした場合は、最後にこの画面を確認してから 3 に進んでください。

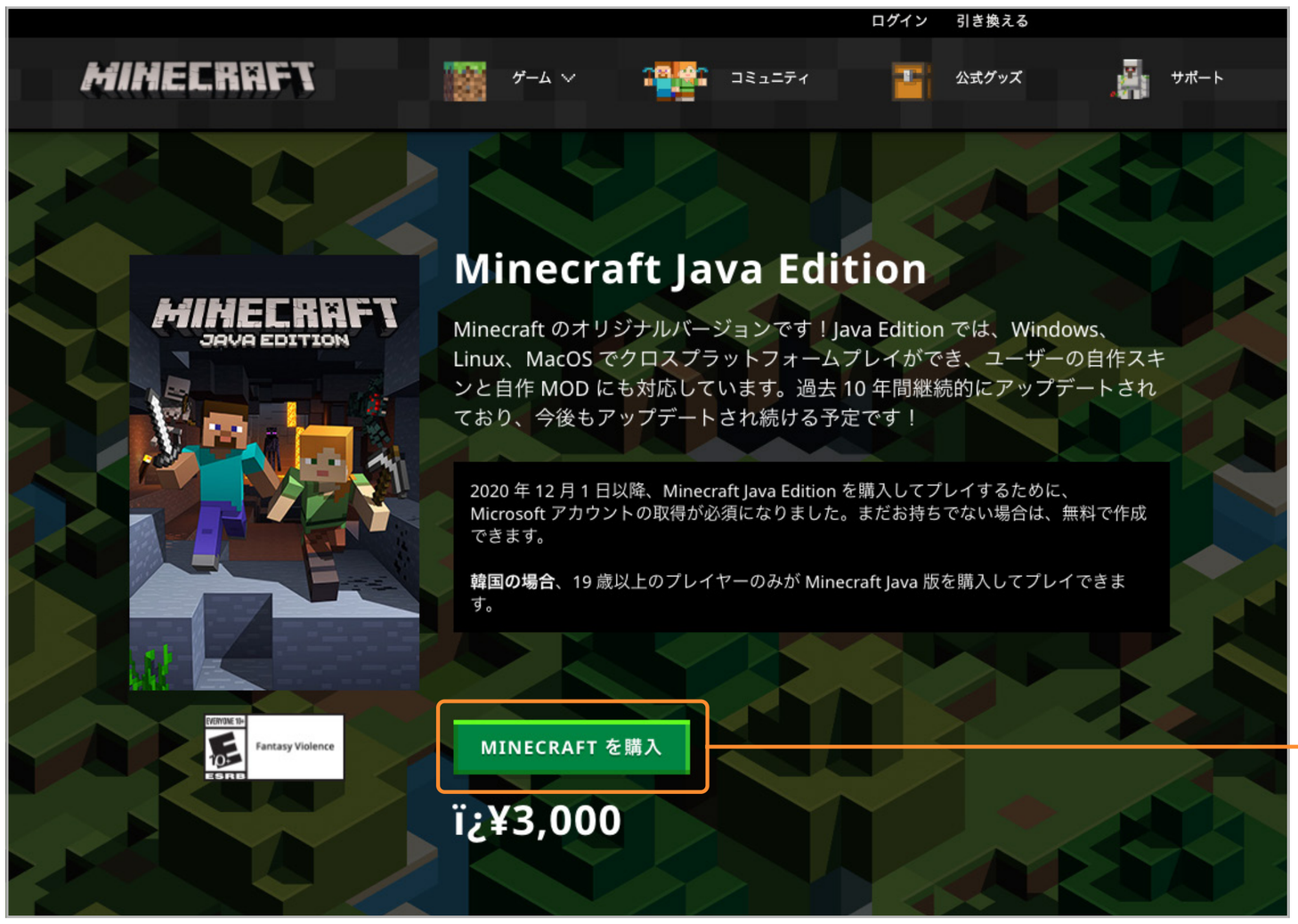
3 Minecraft Java Edition の確認とインストール

Windows 用の Minecraft には、Windows10 Edition と Java Edition の 2 種類が存在します。ここで使うのは Java Edition です。間違って Windows10 Edition を購入しないようにご注意ください。（Microsoft Store で購入できるのは Windows10 Edition のみです。）

Minecraft の購入とインストール

Minecraft Java Edition は、Mojang 社のホームページで購入、ダウンロードします。下記ホームページを開いてください。

https://www.minecraft.net/ja-jp/store/minecraft-java-edition/

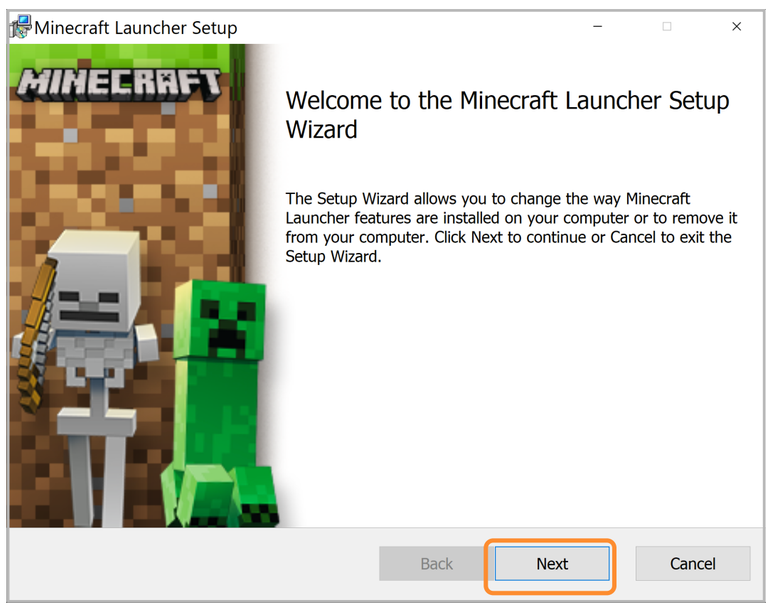


ここから購入します。最終的に下記のファイルがダウンロードできれば購入成功です。

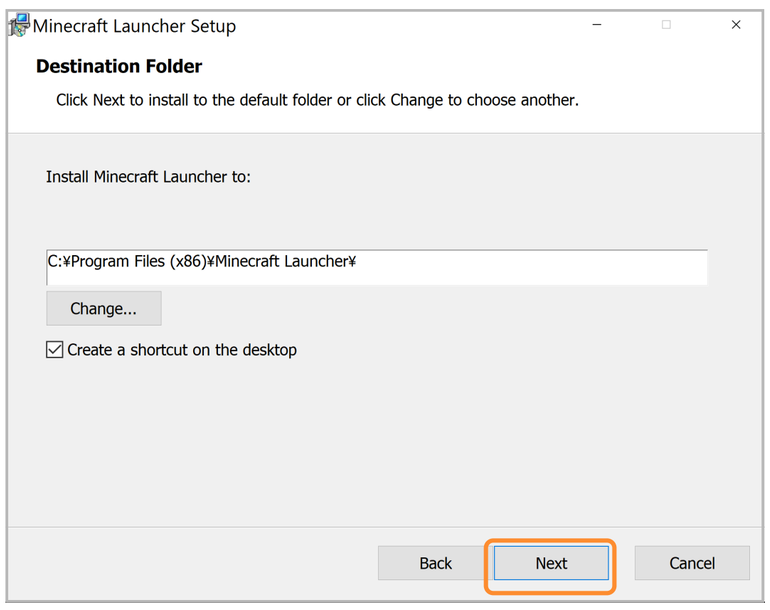
MinecraftInstaller.msi

このファイルをダブルクリックしてインストーラーの指示に従ってください。

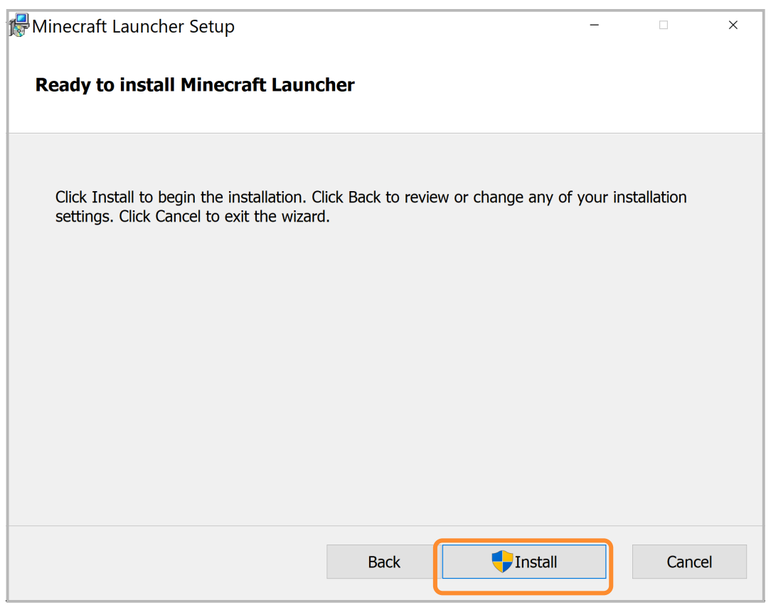
インストールの流れ



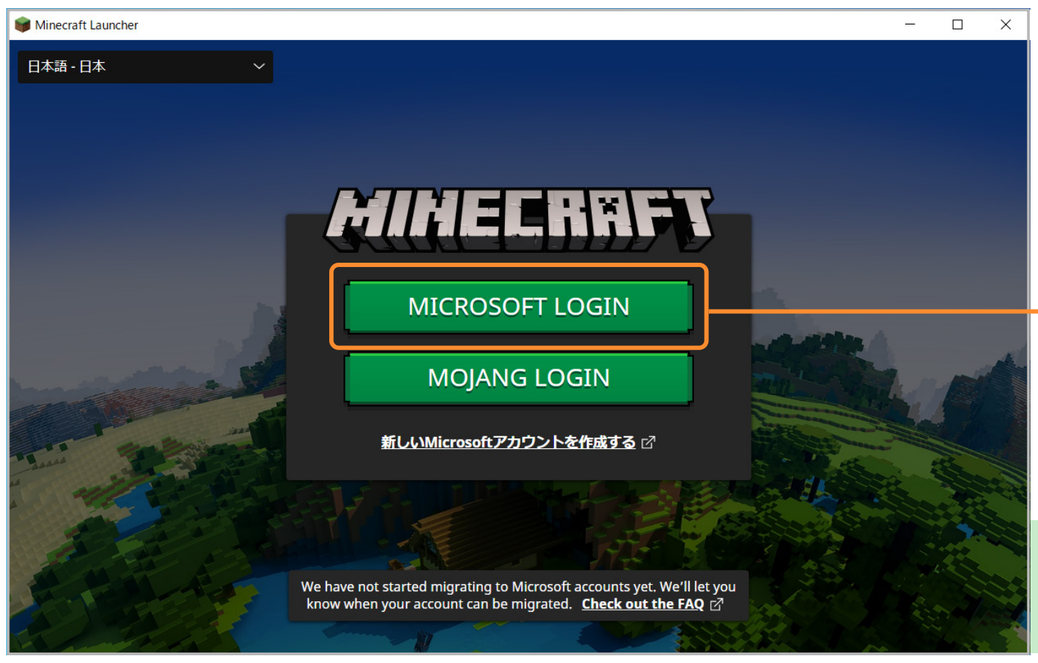
Next をクリック。



Next をクリック。インストール先フォルダは変更しないでください。



Install をクリック。



MICROSOFT LOGIN をクリックし、Microsoft アカウントでログインしてください。

まだ Mojang アカウントでもログインできますが（2021 年 4 月現在）、近日中に Mojang アカウントは廃止され、Microsoft アカウントに統合されることがアナウンスされています。

Minecraft へのログインが成功したら、一端 Minecraft を終了してから 4 に進んでください。

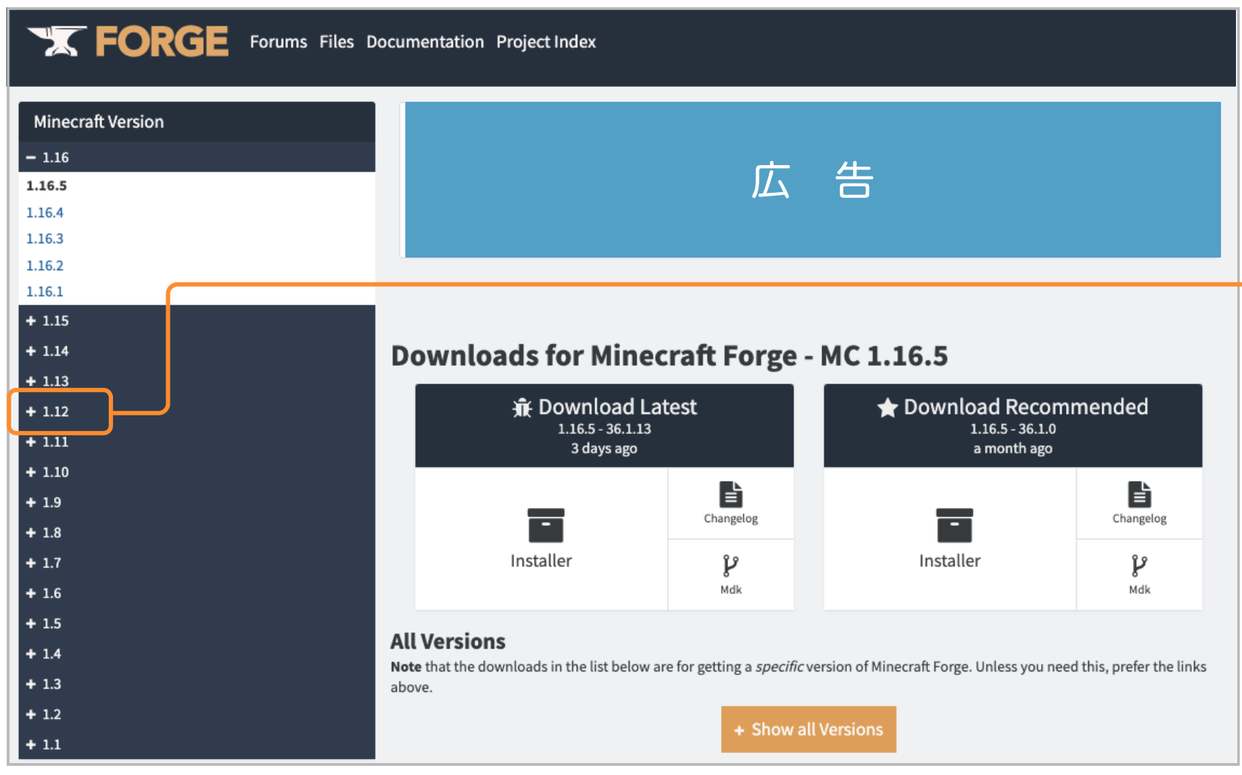
4　forge のダウンロードとインストール

Minecraft Java Edition では、MOD と呼ばれる拡張機能を動作させるために forge が必要です。すでに別のバージョンの forge をインストールされている場合は、下記注意をご覧ください。

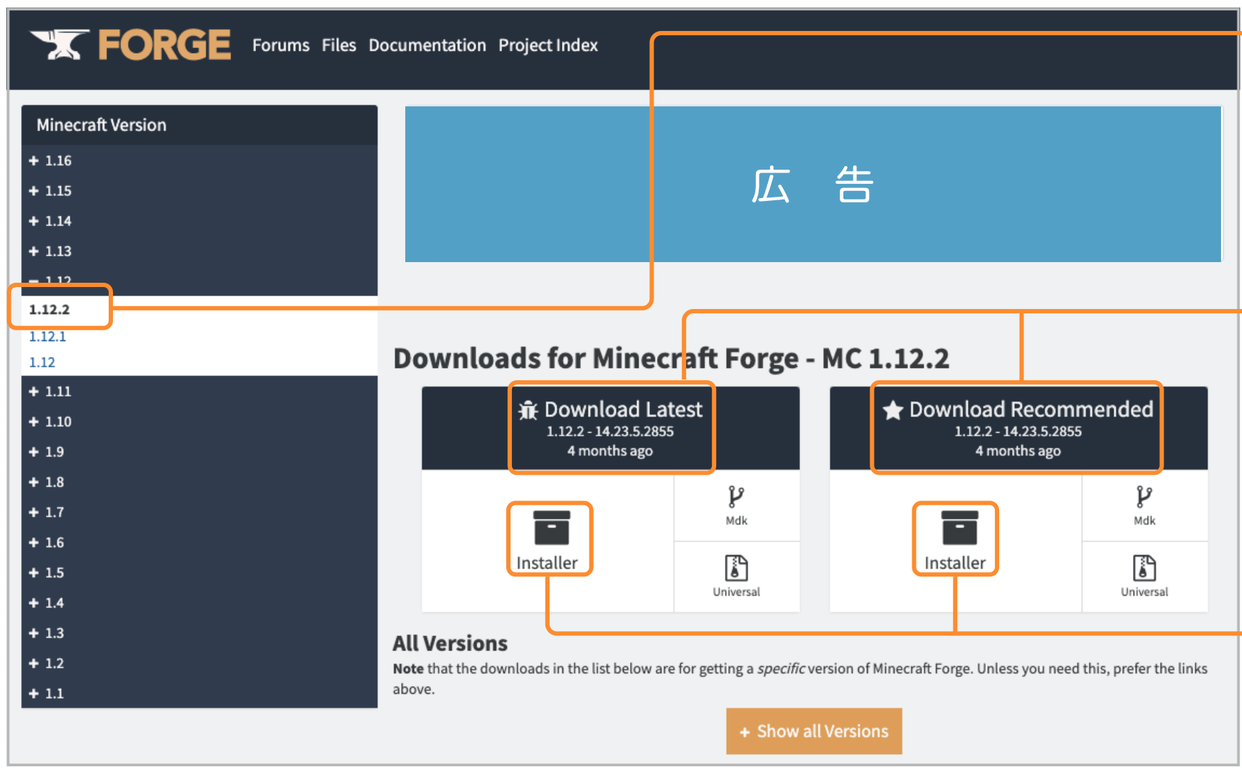
❶ forge のダウンロード

forge のサイトを開き、バージョン 1.12.2 を選択します。MC ブロックビルダーはこのバージョンの forge でしか動作しません。必ずこのバージョンをインストールしてください。

https://files.minecraftforge.net/net/minecraftforge/forge/



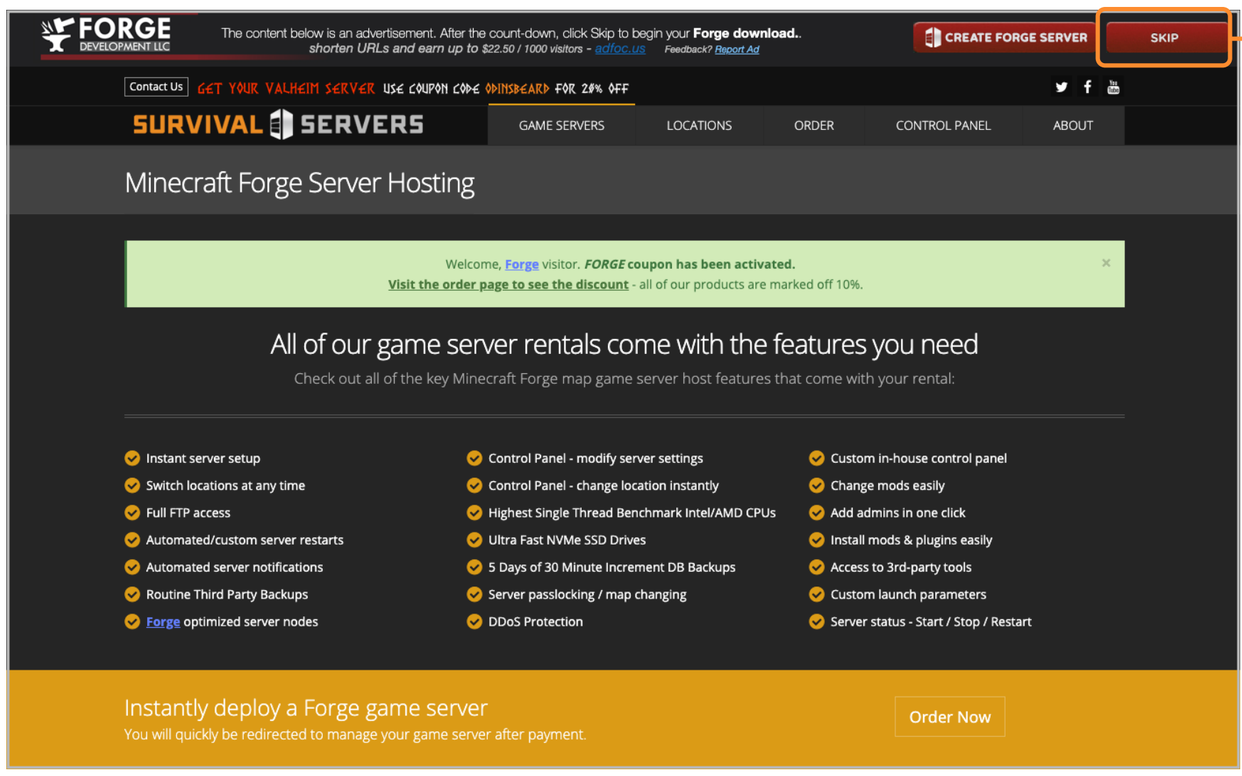
左のメニューから 1.12 をクリック。



次の画面で 1.12.2 をクリックします。

ここに表示されているのが forge の詳細バージョンです。ここでは、1.12.2 - 14.23.5.2855 となっています。(2021 年 4 月現在)

また、Latest と Recommended は同じバージョンですので、ここではどちらをダウンロードしても同じです。installer をクリックします。



SKIP

画面のこのボタンをクリックすると、ファイルのダウンロードが始まります。

この SKIP ボタンは、画面が表示されてから 6 秒過ぎないと表示されないようになっています。その間、画面の他のリンクをクリックせずに待ってください。

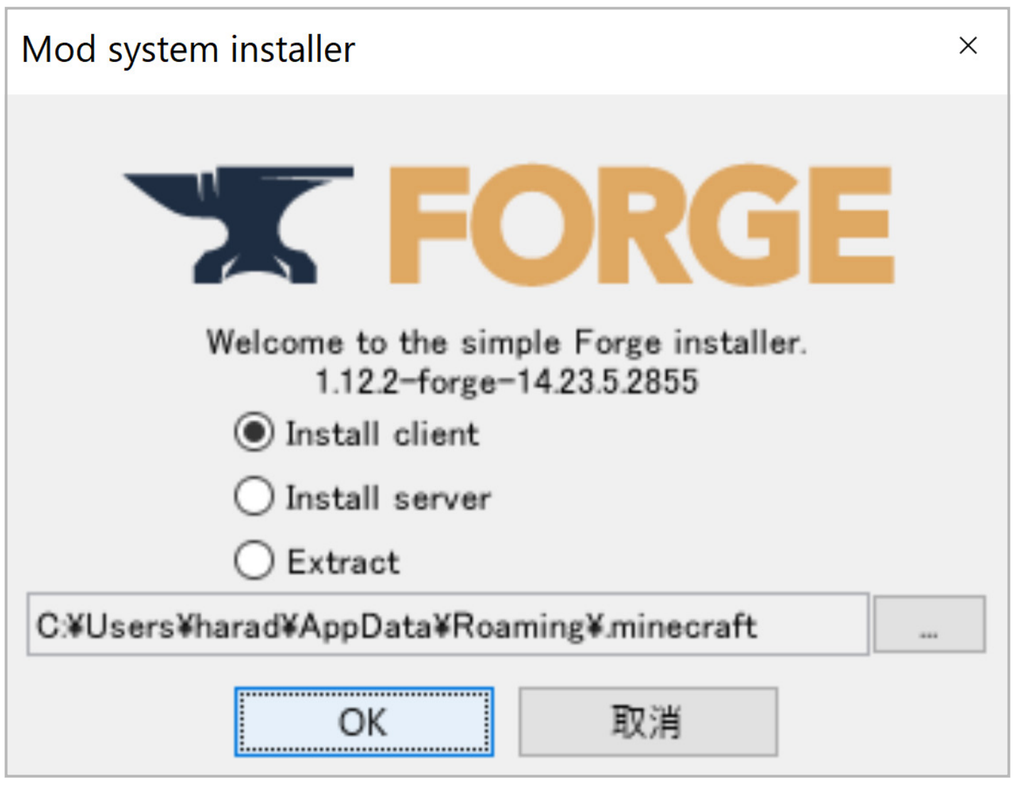
forge-1.12.2-14.23.5.2855-installer.jar

このファイルがダウンロードできたら成功です。

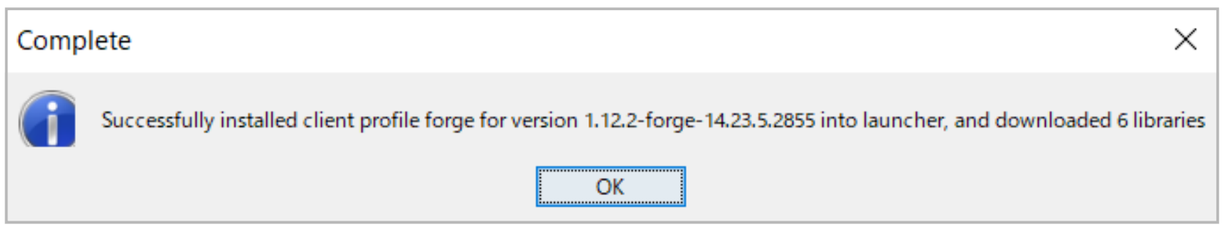
⚠ 注 意　すでの他のバージョンの forge がインストールされている場合、1.12.2 を追加でインストールすると、上書きされてしまいます。その際は、新たに Microsoft アカウントのユーザーを設定してログインユーザーを分けてから 1.12.2 をインストールしてください。forge とこの後の MC ブロックビルダーは、実行したユーザーフォルダ内の Minecraft にのみインストールされます。

❷ forge のインストール

ダウンロードした forge の .jar ファイルをダブルクリックします。



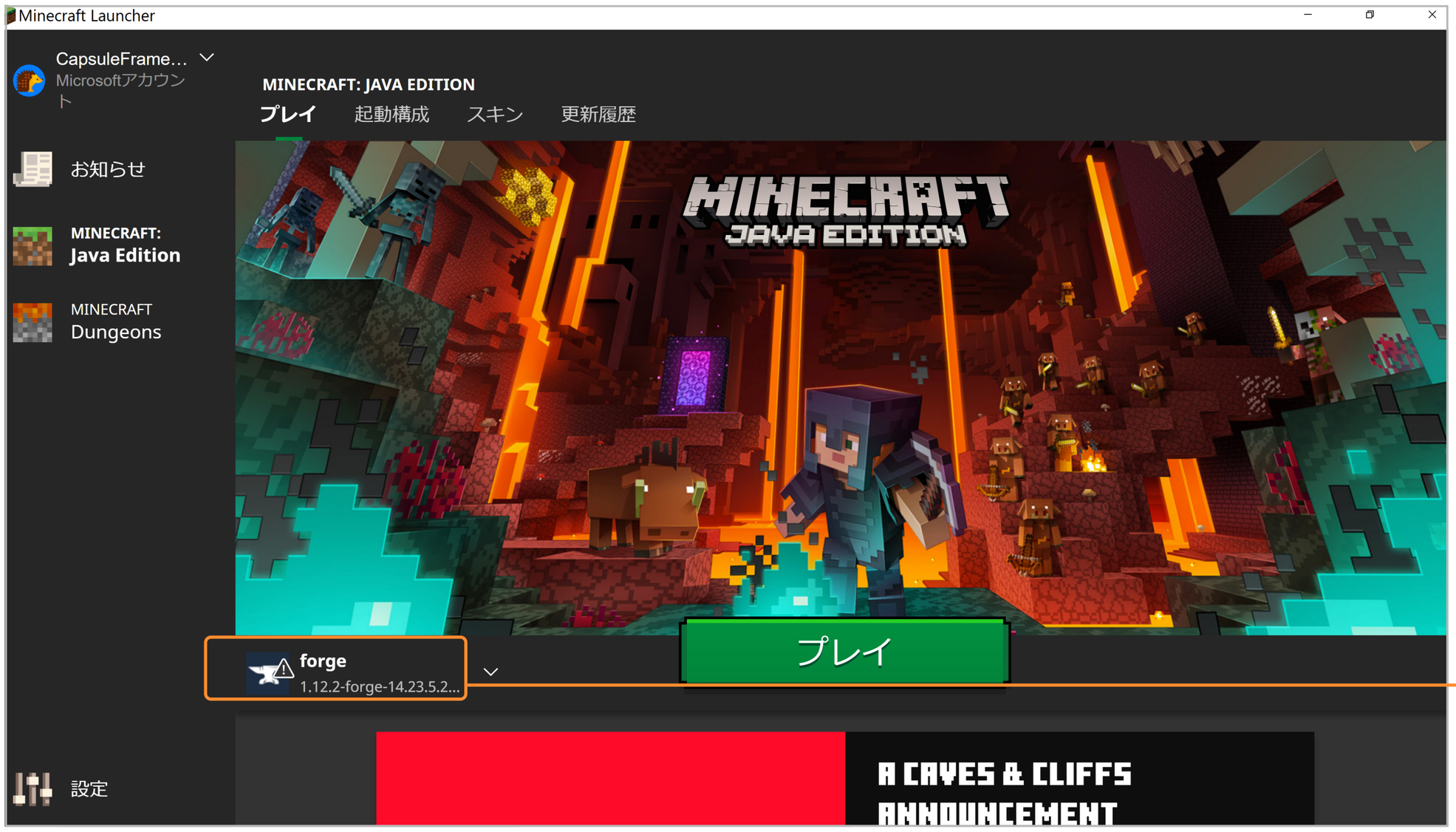
左の画面が立ち上がったら、Install client が選択されていることを確認して OK をクリックしてください。インストールが始まります。下のメッセージが表示されれば forge のインストールは完了です。



forge のインストール画面が立ち上がらない、インストールが正常に終了しないなどの場合は、154 ページのトラブルシューティングをご覧ください。MC ブロックビルダーのインストールは、forge のインストールが成功した後に行ってください。

❸ Minecraft の確認

インストールした forge が Minecraft で動作しているかを確認します。Minecraft を起動してください。



ここに、今インストールした forge のバージョンが表示されていれば問題ありません。プレイボタンをクリックしてください。

forge をインストールすると、最初にプレイを選択した後必ずこのメッセージが表示されます。

ボタンをチェックしてからプレイをクリックしてください。次に Minecraft のワールド選択（作成）画面が表示されます。

ここで、Minecraft のワールドを作成しても構いません。ワールドを作成する場合は、「クリエイティブモード」「スーパーフラット」で作成します（4 ～ 5 ページ参照）。

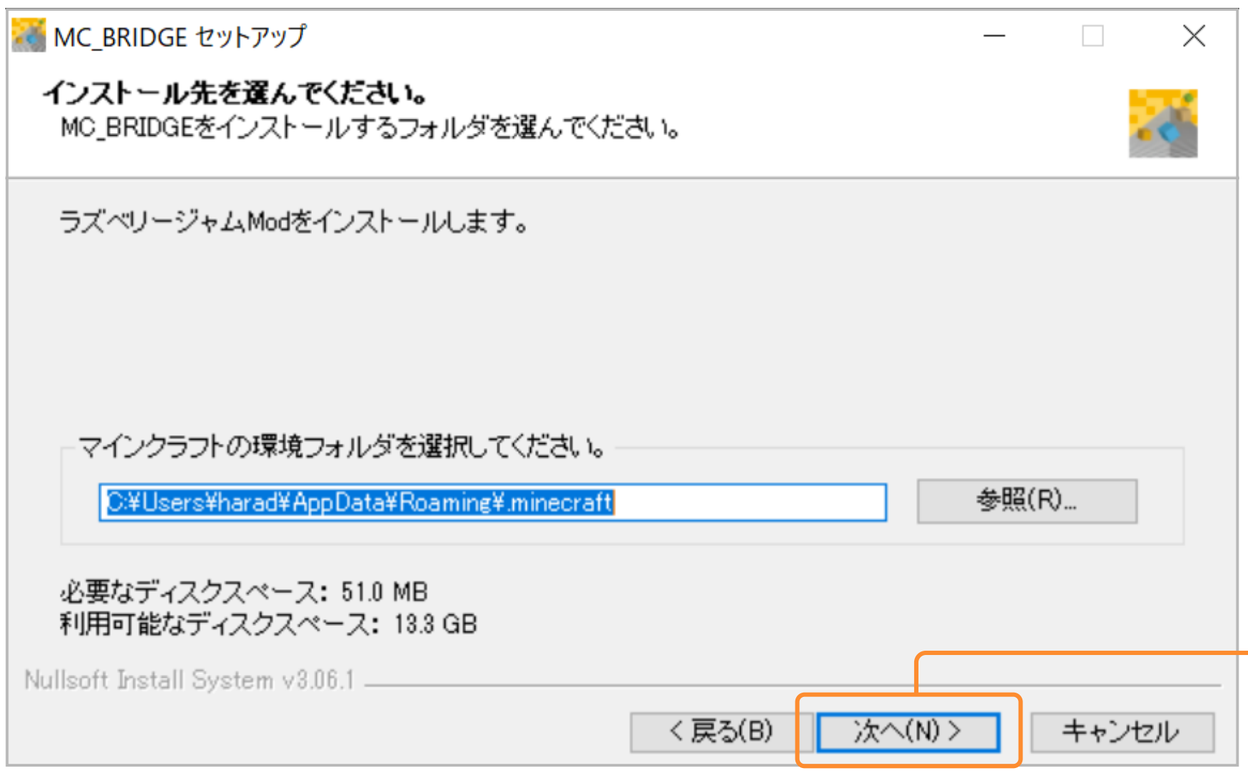
ここで一端 Minecraft を終了させてから 5 に進んでください。

5　MC ブロックビルダーのインストール

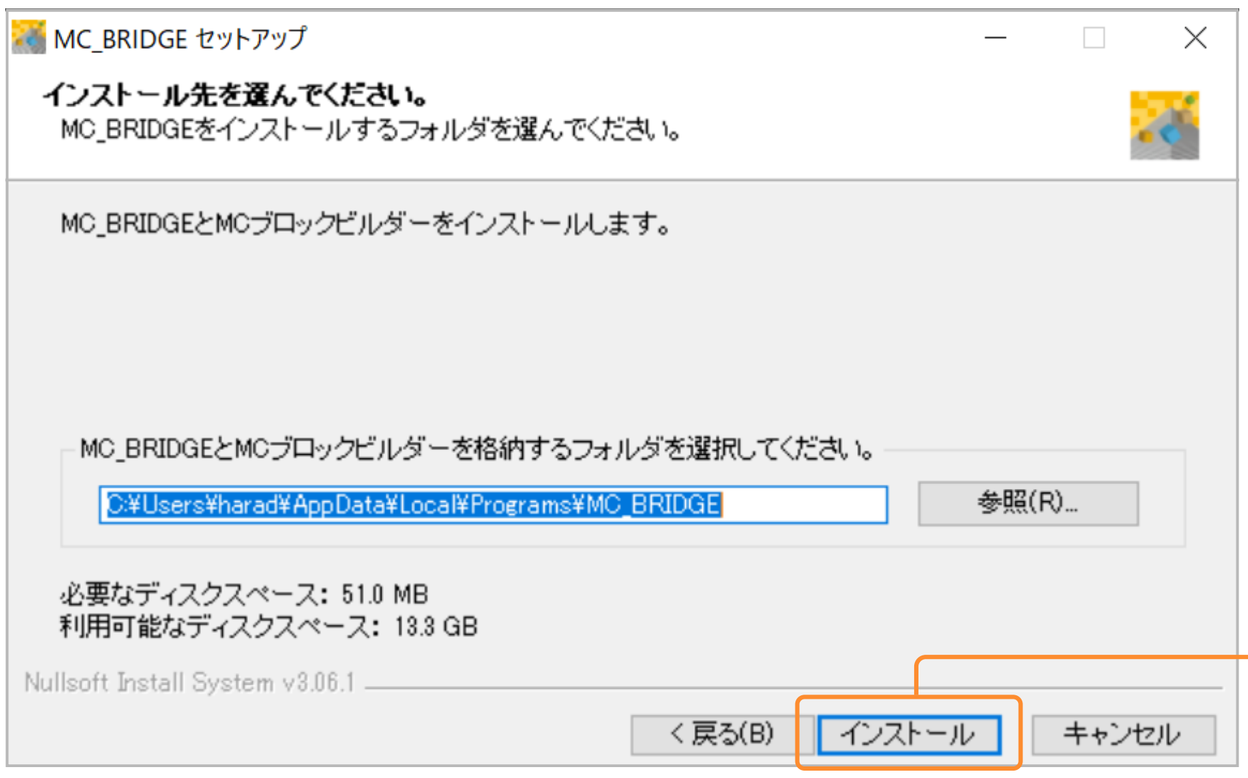
最後に MC ブロックビルダーをインストールします。下記インストールファイルをダブルクリックします。ファイルは https://www.beatrans.co.jp/mcbrockbuilder からダウンロードしてください。

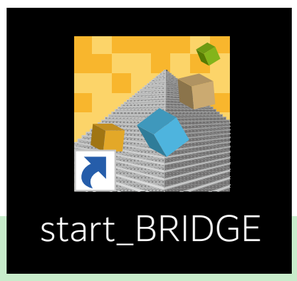
MC_BRIDGE_setup-1.1.0.exe

インストールは左の 3 画面で終了です。デフォルトのインストール先は、変更しないでそのままインストールしてください。



順番に 3 回クリックすればインストールが終了します。





Windows のデスクトップにこのアイコンが置かれたら、セットアップ完了です。

ここでは、まだこのアプリを起動せずに、次に進んでください。

これでインストール関連の作業はすべて終了です。最後に動作確認をします。6 に進んでください。

6　動作確認

MC_BRIDGE を起動する前に、先に Minecraft を起動してワールドを作成します。

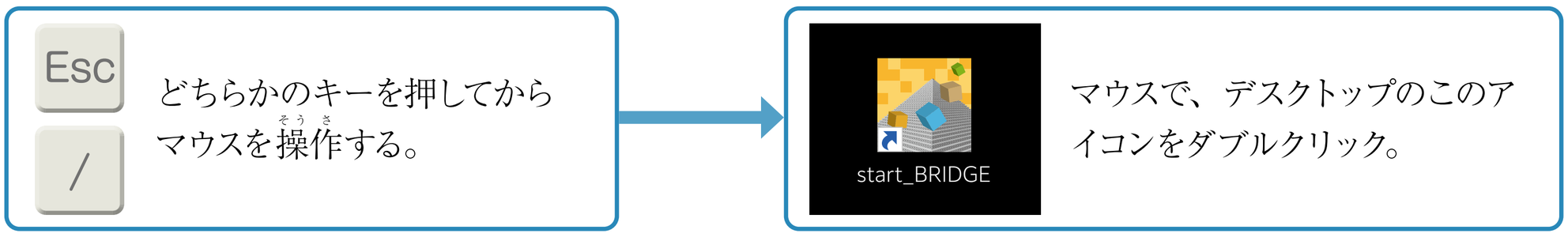
❶ Minecraft のワールド作成

Minecraft でワールドを作成します。ワールドは「クリエイティブ」「スーパーフラット」で作成してください（4 ～ 5 ページ参照）。ワールドを開いたら、そのまま②を行ってください。

MC ブロックビルダーは、必ず Minecraft のワールドを開いた状態で起動する必要があります。

❷ MC ブロックビルダーの起動

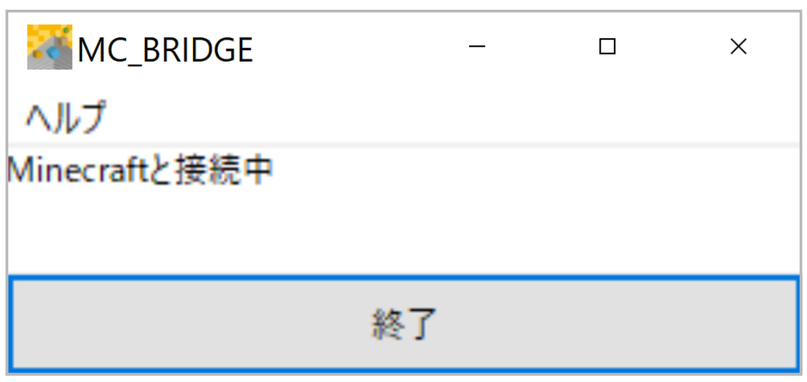
Minecraft のワールドから外に出て、デスクトップの start_BRIDGE アイコンをダブルクリックしてください。



run_scratch.exe

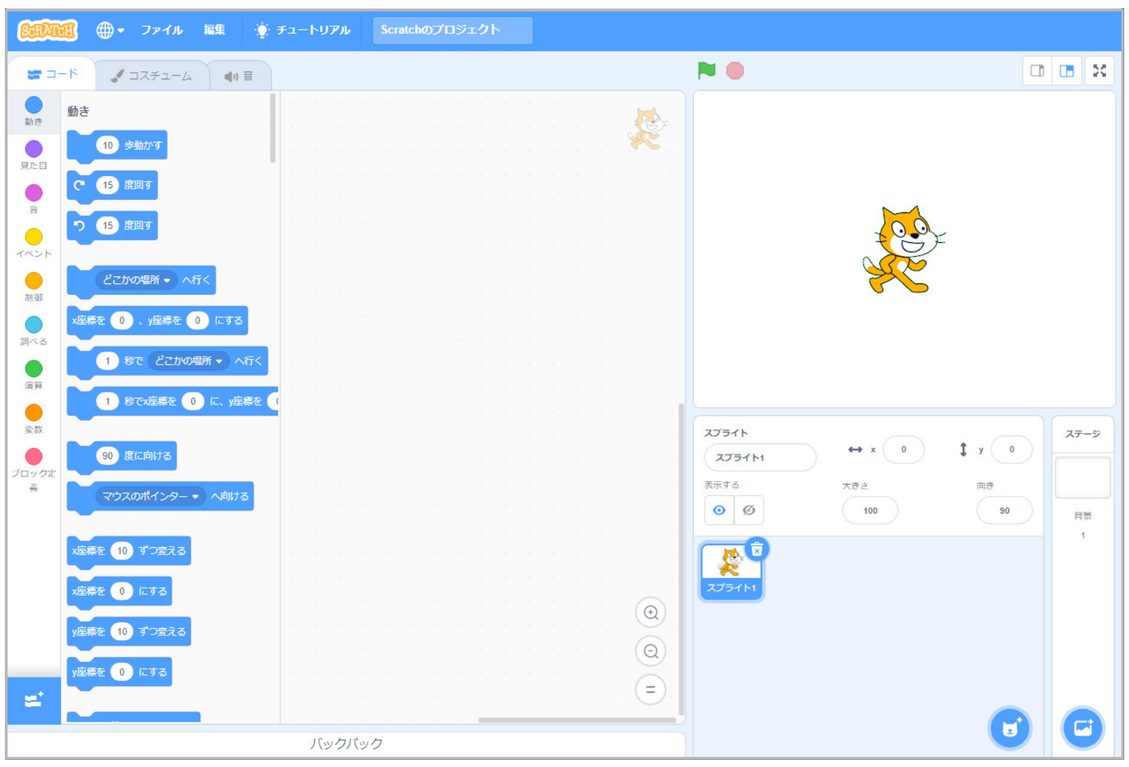
「続行するには何かキーを押してください ...」とありますが、なるべくここでは 15 秒待ってください。このウィンドウは自動的に最小化されます。

MC_BRIDGE.exe



MC ブロックビルダーの本体アプリです。最小化して構いませんが、誤って終了しないようにしてください。

Windows 規定のブラウザ



Windows で設定された「規定のブラウザ」が自動的に立ち上がり、Scratch の画面が表示されます。

少し待っても Scratch の画面が表示されないときは、ブラウザをリロードしてみてください。

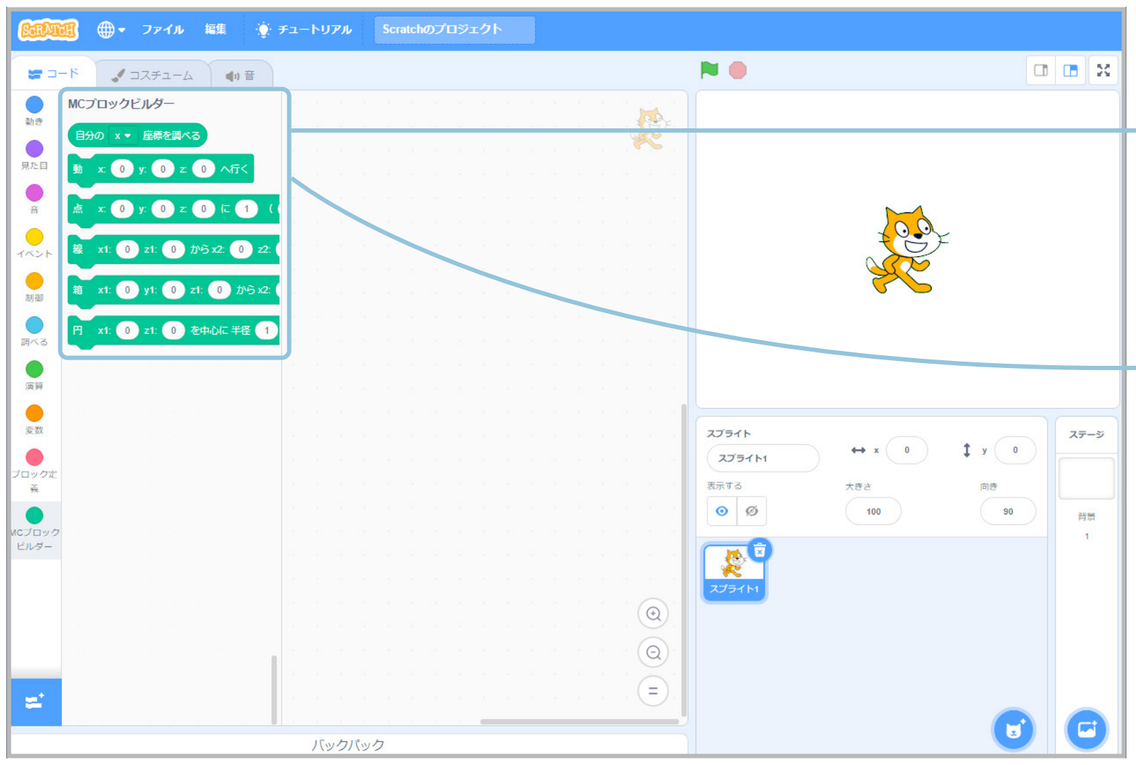
MC ブロックビルダーの動作中、Windows の画面下バーはこのようになっています。

注 意　run_scratch.exe、MC_BRIDGE.exe の両方が表示されていないと動作しません。片方しか表示されていないときは、そのアプリを終了してから、再度デスクトップの start_BRIDGE から起動してください。run_scratch.exe と MC_BRIDGE.exe を個別に起動することはできません。

❸ MC ブロックビルダーの動作確認

Minecraft と Scratch の通信が動作していることを確認します。

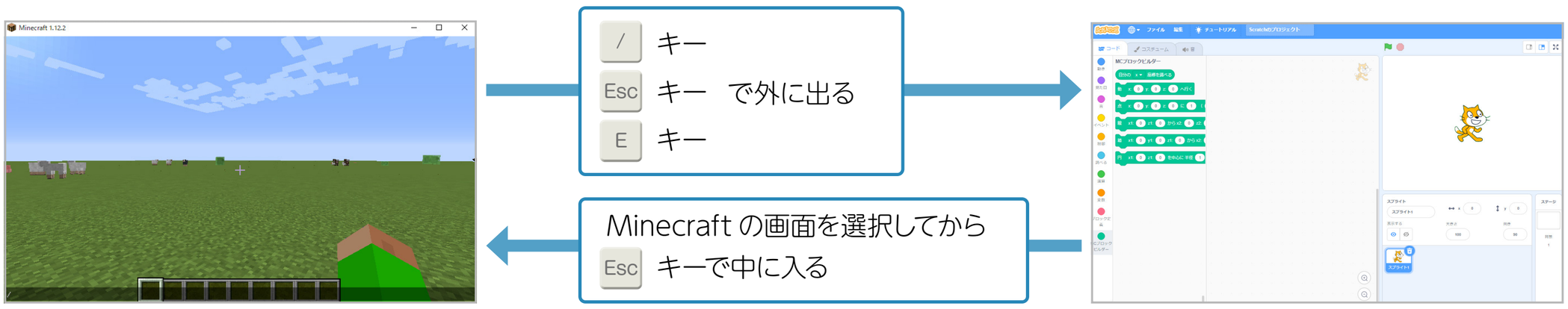
Scratch の「拡張機能を選ぶ」画面で MC ブロックビルダーを選択します。



MC ブロックビルダーの拡張ブロックが読み込まれます。

拡張ブロックの一番上にある、「自分の x ▼座標を調べる」ブロックをクリックしてください。ここで、上のように何かの数字（Minecraft のワールド内で自分がいる場所の座標数値）が表示されれば動作確認は完了です。

これでセットアップは完了です。この後は、Scratch でプログラムを作って実行する、Minecraft のワールド内で結果を確認するという作業を繰り返します（9 ページ参照）。



このように Minecraft の世界と、Scratch を行ったり来たりします。

❹ 座標数値が表示されないときの確認事項

「自分の x ▼座標を調べる」ブロックをクリックしても数字が表示されないときは、以下を確認してください。

- **半角英数字のユーザーフォルダ名になっていませんか？**

  「1 ユーザーフォルダ名の確認」（146 ページ）をもう一度確認してください。新しいユーザーを作成したとしても、元の漢字ユーザー名でログインしたままインストール作業を行ってしまうとインストールは成功しません。

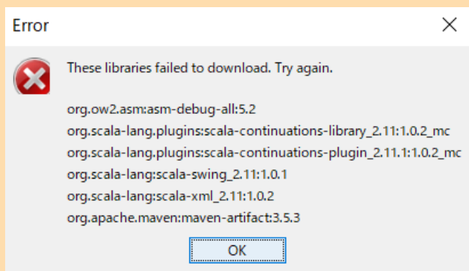
- **run_scratch.exe と MC_BRIDGE.exe は両方とも起動していますか？**

  「6 動作確認」（152 ページ）の Windows バーを再度確認してください。

7 トラブルシューティング

❶ forge のインストールができない場合

ダウンロードした forge のファイルをダブルクリックしても左の画面が起動しない場合は、下記を確認してください。



インストールが始まった後、最後に左のような画面が表示される場合は、一時的な forge のダウンロードサーバーの不具合が原因です。少し時間をあけて再度インストール作業を行ってください。

● Java はインストールされていますか？

「2 Java の確認とインストール」（147 ページ） を再度ご確認ください。Minecraft Java Edition と、ここで言う Java は別物です。必ず Java をインストールしてください。Java がインストールされていないと forge のインストール画面は表示されません。

●セキュリティソフトが Java の実行をキャンセルしていませんか？

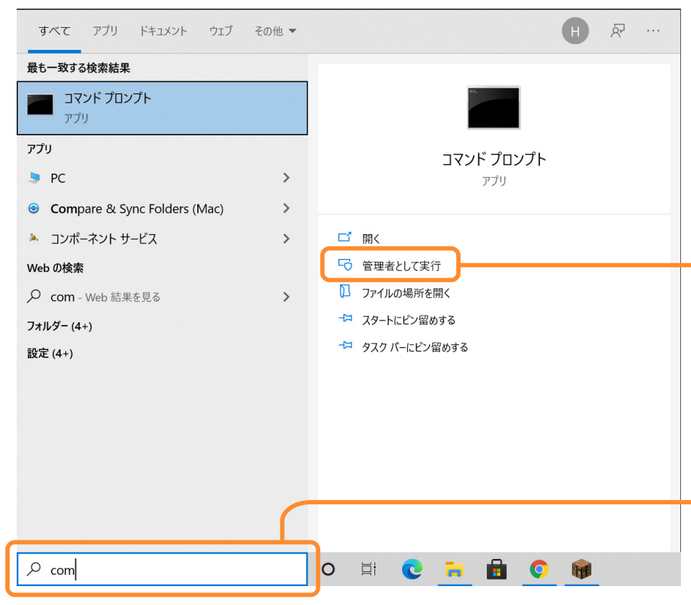
ノートン、マカフィー、カスペルスキーなどの代表的なセキュリティソフトや Windows Defender はデフォルト設定では Java の実行をキャンセルするようにはなっていないようです。ただし、何らかの理由でこの設定が変更されていて Java が実行できなくなっている可能性があります。一度セキュリティソフトを終了してから forge のインストールを行ってみてください。

上記を確認してもうまく行かない場合は下記方法でインストールしてください。

コマンドラインから forge をインストールする

①ダウンロードした forge ファイル（forge-1.12.2-14.23.5.2855-installer.jar）を、エクスプローラーで PC ＞ローカルディスク（C：）にコピーする。

② Windows のコマンドプロンプトを「管理者として実行」する。

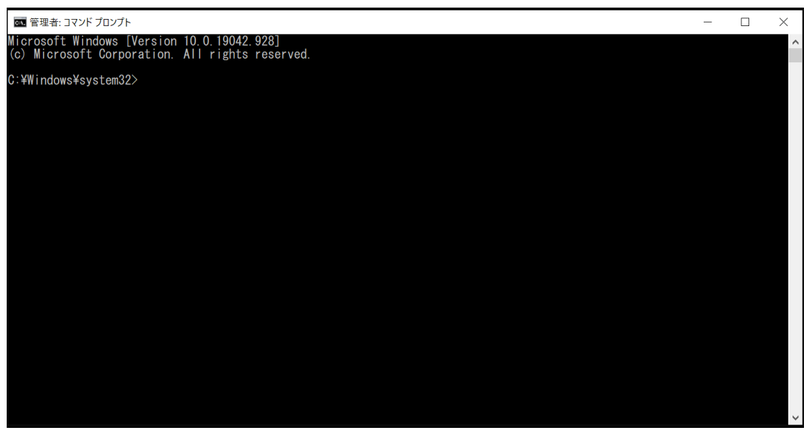


「管理者として実行」を選びます。
（もしくは、コマンドプロンプトのアイコン上で右クリックして「管理者として実行」を選びます。）

Windows下段の検索窓に com と入力すると簡単にコマンドプロンプトを呼び出せます。

③「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」画面が出ますので「はい」を選択します。

④画面にコマンドをキーボードで入力する



左の画面にキーボードから下記のコマンドを入力してください。コマンドは 2 回入力します。入力毎に Enter キーを押してください。

cd:¥

java -jar forge-1.12.2-14.23.5.2855-installer.jar

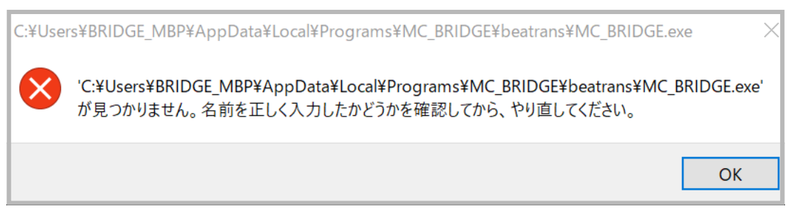
赤字の部分は、ダウンロードした forge のファイル名です。ダウンロードしたファイル名を正しく入力してください。（コピー＆ペーストで貼り付けることも可能です）

正しくコマンドを入力すると、上記 forge のインストーラーの画面が表示されます。

＊ forge のインストーラーファイルをルートに置かない場合は、ファイルのあるディレクトリに cd で移動してから java -jar コマンドを実行すれば、どのディレクトリからでもインストーラーは動作します。

❷ ノートンがインストールされている場合

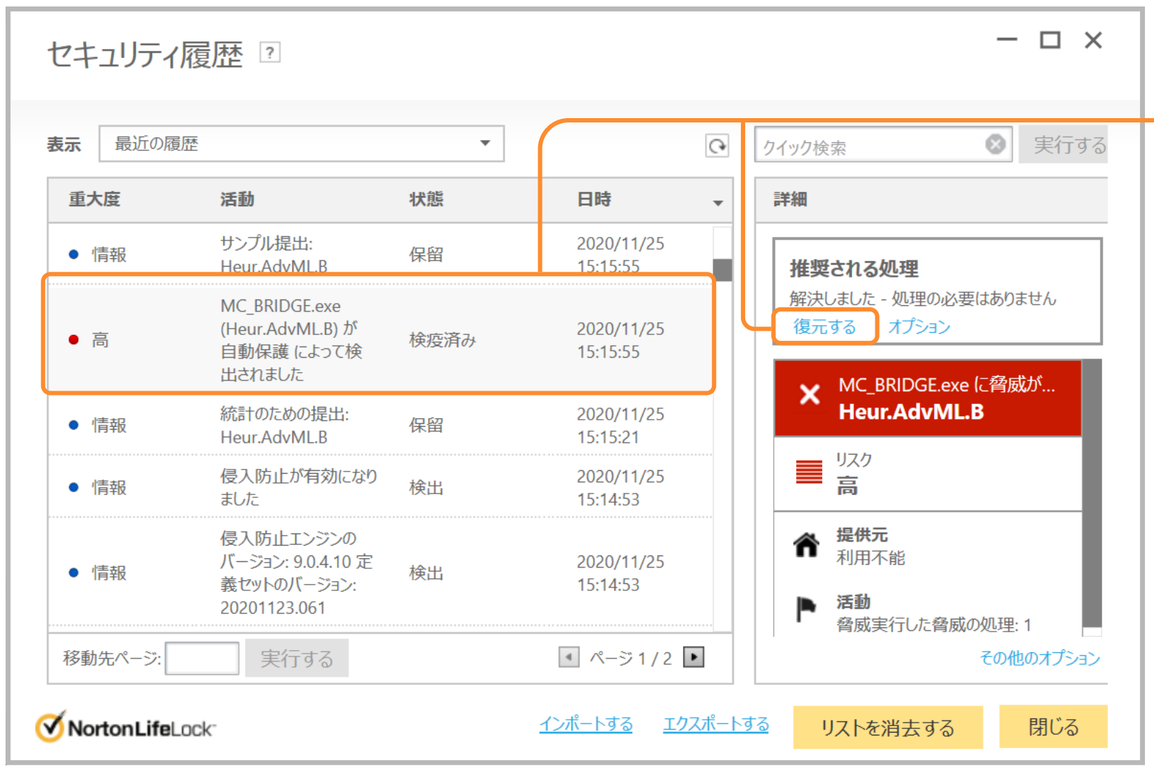
セキュリティソフトのノートンは、デフォルト設定の状態でインストールした MC ブロックビルダーのアプリを駆除してしまいます。この場合はアプリが起動できません。下記手順で駆除されたアプリを復元してください。



アプリが駆除されてしまうと左のようなエラーが発生します。

ノートンの管理画面を起動します。

「履歴」を選択します。



MC_BRIDGE.exe が駆除された履歴が表示されます。この表示を選択した後、「復元する」をクリックしてください。

一度この作業を行えば、ノートンが設定を記憶しますので、再インストールした際も駆除されることはありません。

追記

本原稿執筆時点（2021 年 4 月）で、デフォルト設定の状態で、MC_BRIDGE.exe を駆除するのは、ノートンだけのようです。他のセキュリティソフトでも、ユーザー設定によっては同様の処理を行う可能性があります。もし起動時に「MC_BRIDGE.exe が見つかりません」のエラーが表示されたときは、下記ディレクトリ内のファイルを確認してください。ここに MC_BRIDGE.exe がない場合は、セキュリティソフトに駆除された可能性があります。その場合はそれぞれのソフトで、上記のような復元の操作を行ってください。

MC_BRIDGE.exe のインストール場所

C:\Users\UserName\AppData\Local\Programs\MC_BRIDGE\beatrans

＊ UserName の部分はそれぞれの環境で異なります。

＊上記のアドレスは Windows のデフォルト設定では「隠しファイル」となっています。エクスプローラーの表示 / 非表示のメニューで「隠しファイル」の表示にチェックすると表示できるようになります。

8 FAQ

● プログラムを実行したのにブロックが置かれない

・自分が立っている場所とブロックを置いた場所が離れていませんか？

自分が立っている座標と、プログラムでブロックを置いた座標を確認してください。離れていると置いたブロックが見えません。「円」ブロックを実行したとき、自分は円の中心にいても半径の数値が大きすぎるとやはり置いたブロックが遠すぎて見えません。

・座標やブロック ID、引数の数値に「全角数字」を入力していませんか？

Scratch ではプログラムブロック内の数値は必ず半角数字で入力しなければいけません。MC ブロックビルダーも同様です。全角数字を入力するとプログラムが反応しません。

・プログラムは正しく実行しましたか？

Scratch で作ったプログラムを実行するためには、Scratch の画面でプログラムの実行キーを押す必要があります。マインクラフトの画面内から Scratch のコマンドを実行することはできません。プログラムを実行するときは必ずマインクラフトのワールドから出て、Scratch の画面から行ってください。また、Scratch プログラムの数値欄に入力カーソルが残ったまま実行キーを押してもうまく動作しないことがあります。

・移動しても自分の座標が更新されませんか？

上記を確認してもまだ理由が分からない場合は、マインクラフトワールド内を移動して、その際に Scratch で作った座標表示プログラム（11 ページ）で、座標が変わっていくかどうかを確認してください。もし移動しても座標値が変化しない場合は、MC_BRIDGE.exe がエラーを起こしている可能性があります。その際は run_scratch.exe と MC_BRIDGE.exe を終了させて、再度デスクトップの start_BRIDGE を起動してください。

● Minecraft のワールドがすぐに不安定になったりクラッシュしてしまう

・プログラム内に「ずっと」ブロックを使っていませんか？

Scratch の「ずっと」ブロックは、ゲームなどを作るときはよく使いますが、ここでは非常に危険なプログラムです。一度実行すると、停止するまで「ブロックを置く」命令を Minecraft に送り続けるからです。Minecraft の画面上では、同じブロックに見えていても、実際は「ずっと」ブロックの働きで、連続的に書き換えられている場合があります。このような大量のコマンドが連続して Minecraft に送り込まれると、Minecraft が不安定になることがあります。

・プログラムの実行キーを連打しませんでしたか？

いろいろなプログラムブロックを組み合わせて、たくさんのブロックを画面に置くようなプログラムを作って、その実行キーを連打したりすると、大量のブロックを置くコマンドが Minecraft に送られます。その結果 Minecraft が不安定になることがあります。また、画面上に作りかけのプログラムを放置して、これを不用意にクリックすることで実行してしまった場合なども同じことが起きることがあります。この件は 38 ～ 41 ページに子ども向け記事としてまとめてあります。ぜひご一緒に読んでいただき、プログラムの実行キーは極力連打を避けるようにご指導ください。

・存在しないブロック ID や引数を入力しませんでしたか？

本書のブロック一覧に掲載されていないブロック ID や引数を指定すると、プログラムを実行した瞬間にワールドがクラッシュすることがあります。実は、ブロック一覧に掲載していないブロックもまだ存在するため、一覧以外の数値を入れると一覧にないブロックが出現したりすることがありますが、中には一発でワールドをクラッシュさせる数値の組み合わせもあります。これを調べるのは自己責任でお願いいたします。ワールドがクラッシュしてもたいていの場合は直前の状況は保存されていますし、再度起動すればまた MC ブロックビルダーと接続することもできます。

・「動」ブロックでとてつもない距離を移動しませんでしたか？

本文 14 ページでも解説しましたが、Minecraft のスーパーフラットのワールドは X、Z 座標ともにだいたい -30000000 ～ 30000000 の範囲です。この端から端までを「動」ブロックで一気に移動したりすると、ワールドが反応しなくなります。どの程度の移動までなら安全なのかがあまりはっきりと分からないのですが、経験的に数回くらいなら 30000000 移動しても大丈夫でした。ただ、これを繰り返したりするとすぐに不安定になります。1000 程度の移動には特に問題ありませんので、実用上は問題ないと思います。

● ワールドを閉じたら MC ブロックビルダーが動かなくなった

MC ブロックビルダーは、必ず Minecraft のワールドを開いてから起動する必要があります。そのため、一度開いて接続したワールドを閉じてしまったり、そのワールドがクラッシュして再度立ち上げたときには、もう一度 MC ブロックビルダーを起動しないと、接続は復活しません。その時は、下記手順で行ってください。

①マインクラフトのワールドを再度開く

クラッシュ直前までの構築物はたいてい保存されています。

② run_scratch.exe、MC_BRIDGE.exe を終了する

Scratch が動作するブラウザは終了させずに、この 2 アプリだけ終了させます。

③ start_BRIDGE を起動する

上の手順で MC ブロックビルダーを再起動すると、もともと使っていた Scratch の画面タブの他に、MC ブロックビルダーが別のタブでもう 1 つ Scratch を立ち上げます。

この状態のとき、実はどちらの Scratch も Minecraft のワールドに接続した状態となっています。2 つの Scratch を使い分けて同時に別のプログラムを作ることもできますが、通常はもともとプログラムを作っていた Scratch の画面を残して、もう 1 つは終了すると良いでしょう。上記でも改善しない場合は、マインクラフト、MC ブロックビルダー、ブラウザをすべて終了して再起動してください。

Scratch の画面を複数タブや別ブラウザで立ち上げて、それぞれで別のプログラムを作ることも可能です。その際はブラウザに表示されている URL（ http://localhost:8160/ ）を他のタブや別のブラウザにコピー&ペーストして Scratch を開いてください。

ワールドで奈落に落ちて死んでしまったときはリスポーンするだけで接続が維持された状態のワールドに戻ることができます。

● 保存したプログラムが開けない

・普通の Scratch を使っていませんか？

MC ブロックビルダーの拡張ブロックを使ったプログラムファイルを、通常の Scratch3.0（https://scratch.mit.edu/）で開くことはできません。必ず MC ブロックビルダーが立ち上げる Scratch で開いてください。

● Scratch 画面の表示がおかしい

Scratch 画面で、ブロック内の変数名の表示がおかしくなったり、プルダウンメニューの表示名が全て表示されないなどのエラーが発生することがあります。これは Scratch 側のエラーです。

このような症状が出た場合は、ブラウザを再起動してから、再度 Scratch を開くことで解消されます。この操作をする際は、run_scratch.exe、MC_BRIDGE.exe は起動したまま、ブラウザだけを再起動し、http://localhost:8160/ にアクセスしてください。これで Minecraft との接続が復帰します。

● サバイバルやハードコアモードでも使えますか

使えます。ただし、同じ forge バージョンのワールドだけです。forge のバージョンが異なるワールドにはブロックが置けません。クリエイティブモードでじっくり作ったプログラムを保存して、サバイバルやハードコアの世界に入ってから呼び出して実行すれば、作ったものはそのワールド内に出現します。座標表示プログラムもそのまま使えます。（ワールドを切り替えた際は、run_scratch.exe、MC_BRIDGE.exe を終了してから再度 start_BRIDGE を起動してください。）

このとき、座標を変えても同じものがすぐに作れるように、本書第 3 章以降のように座標を変数としてプログラムすることをおすすめします。また、空気ブロックと「箱」ブロックを使えば大規模な整地などもプログラムですぐにできます。

9 技術情報

● MC ブロックビルダーのインストールディレクトリ

MC ブロックビルダーのインストーラーは下記のディレクトリにファイルをインストールします。

C:\Users\UserName\AppData\Local\Programs\MC_BRIDGE\beatrans

MC_BRIDGE.exe	**MC_BRIDGE.exe**	MC ブロックビルダーの本体ファイルです。Scratch と Minecraft の通信を行うアプリです。
mc_bridge.ico		
run_scratch.exe	**run_scratch.exe**	ブラウザ上の Scratch をローカルで動作させるためのローカルサーバーアプリです。
start_bridge.bat	**start_bridge.bat**	デスクトップ上の start_BRIDGE は、このバッチファイルのショートカットです。
uninstaller.exe		

● Minecraft のデータディレクトリ

Minecraft は下記のディレクトリにユーザー毎のデータフォルダを作ります。

C:\Users\ UserName \AppData\Roaming\.Minecraft

- assets
- bin
- config
- crash-reports
- libraries
- logs
- mods
- resourcepacks
- saves
- screenshots
- versions
- webcache
- webcache2

MC ブロックビルダーのインストーラーは左の mods (C:\Users\ UserName \AppData\Roaming\.minecraft\mods) 内に、RaspberryJamMod.jar という MOD をインストールしています。MC ブロックビルダーの動作に必要な MOD です。

Minecraft のワールドデータは、左の saves (C:\Users\ UserName \AppData\Roaming\.minecraft\saves) 内にあります。

このように、Minecraft はユーザー別に環境ファイルを設置します。そのため、ユーザー毎にバージョンの異なる forge をインストールすることが可能です。また、saves 内のワールドデータをコピーすれば、他のマシンや、異なるユーザーのエリアにワールドを引っ越すことも可能です。

ただしワールドは、Minecraft のバージョン毎に生成されます。1.12.2 で作ったワールドは、同じく 1.12.2 の Minecraft の環境でしか開くことができません。1.12.2 以降のバージョンの Minecraft でなら下位バージョンのワールドを開くことができますが、一度上位のバージョンの Minecraft で開いてしまうと、そのバージョンに変換されるため、再度 1.12.2 の環境で開くことはできなくなります。

＊ UserName の部分はそれぞれの環境で異なります。
＊上記のアドレスは Windows のデフォルト設定では「隠しファイル」となっています。エクスプローラーの表示 / 非表示のメニューで「隠しファイル」の表示にチェックすると表示できるようになります。

● 使用ブラウザについて

推奨は Firefox です。Chrome、Edge でも動作確認をしています。 Chrome、Edge 等、Chromium ベースのブラウザでは、大量のブロック配置の命令を送信した際に仕様上データ抜け (一部ブロックが配置されない) が発生することが確認されています (「点」ブロックで 4000 個以上のブロックを配置するプログラムを作成したり、3-4 のような例で「箱」ブロックを連続して動作させるような場合)。通常利用の範囲ではあまり問題になりませんが、Firefox ならこのような処理落ちがほとんどなく、高速に動作します。

MC ブロックビルダー及び本書に関連する情報はすべて下記ホームページにてお知らせします。
本書のサンプルプログラムも下記からダウンロードできます。
https://www.beatrans.co.jp/mcbrockbuilder